



## 促成キュウリの病害虫防除対策について

菌核病や灰色かび病、退緑黄化病、コナジラミ類など

促成栽培のキュウリでは、今後果実に発生する菌核病や灰色かび病、ウイルスによる退緑黄化病などが発生しやすくなります。退緑黄化病はタバココナジラミが媒介し、黄化えそ病はミナミキイロアザミウマが媒介しますので、これら病害虫の防除に十分な注意が必要となります。



### 防除対策のポイント

#### 耕種的防除

- 1) 菌核病や灰色かび病の被害果を見つけたら直ちに摘除し、施設外へ持ち出して腐熟化させるなど適切に処分します（施設内や近くに、そのまま放置すると伝染源となって、孢子が飛散する恐れがあります）。
- 2) 昼近くになっても作物に水滴が残るような場合には、暖房や送風、換気等により、施設内の湿度をできるだけ低く保ってください。
- 3) 菌核病や灰色かび病の対策として、開花が終わっても花落ちが悪い場合には、出来るだけ枯花を取り除きます。

#### 化学的防除

- 1) 薬剤散布は、夕方までにキュウリの表面の薬液が乾くような時間帯に行ってください。
- 2) 湿度の高い施設では、防除薬剤に「くん煙剤」などを活用します。
- 3) 薬剤耐性菌や抵抗性の発生を抑制するため、同一分類（コード）の連続散布は避けてローテーション散布します。

表1 キュウリ菌核病、灰色かび病の主な防除薬剤

(令和6年2月2日現在)

薬剤名	対象病害		希釈倍率または使用方法	使用時期 / 使用回数	分類
	菌核病	灰色かび病			
ゲッター水和剤	○	○	1,500倍	収穫前日まで / 5回以内	1と10
ジャストミート顆粒水和剤	○		2,000倍	収穫前日まで / 3回以内	12と17
スミレックス水和剤	○	○	2,000~3,000倍	収穫前日まで / 6回以内	2
セイビアーフロアブル20	○	○	1,000~2,000倍	収穫前日まで / 3回以内	12
ダコニール1000		○	1,000倍	収穫前日まで / 12回以内	M5
パレード20フロアブル	○	○	2,000~4,000倍	収穫前日まで / 3回以内	7
ファンタジスタ顆粒水和剤	○	○	2,000~3,000倍	収穫前日まで / 3回以内	11
フルピカフロアブル		○	2,000~3,000倍	収穫前日まで / 4回以内	9
フルピカくん煙剤			くん煙室容積 500 m <sup>3</sup> 当たり 50 g		
ベルコートフロアブル	○	○	2,000倍	収穫前日まで / 7回以内	M7
ロブラールくん煙剤	○	○	くん煙室容積 300~400 m <sup>3</sup> 当たり 100g	収穫前日まで / 4回以内	2

注) 表1および表2の分類欄には、FRACまたはIRACコードを記載しました(コードが2つは混合剤)。同一分類(コード)は作用点が同じなので、連用は避けてください。

表2 キュウリ コナジラミ類、アザミウマ類、アブラムシ類、ハダニ類の主な防除薬剤 (令和6年2月2日現在)

薬剤名	対象害虫				希釈倍率	使用時期 / 使用回数	分類
	コナジラミ類	アザミウマ類	アブラムシ類	ハダニ類			
グレーシア乳剤	○	○		○	2,000倍	収穫前日まで / 2回以内	30
コロマイト乳剤	○			○	1,000~1,500倍	収穫前日まで / 2回以内	6
サンマイトフロアブル	○		○	○	1,000~1,500倍	収穫前日まで / 2回以内	21A
ディアナSC	○	○			2,500倍 2,500~5,000倍	収穫前日まで / 2回以内	5
トランスフォームフロアブル	○		○		1,000~2,000倍 2,000倍	収穫前日まで / 2回以内	4C
ベストガード水溶剤	○	○	○		1,000~2,000倍	収穫前日まで / 3回以内	4A
ベネビアOD	○	○	○		2,000倍	収穫前日まで / 3回以内	28
モベントフロアブル	○	○	○	○	2,000倍	収穫前日まで / 3回以内	23

■ 農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。

■ 営農 News は J A 全農いばらきホームページでもご覧になれます。

農機営農支援部 営農支援課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040